

「応援します!! あなたの農業」

あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 17 号 平成 17 年 7 月

発行元 福島市中町 8 番 2 号

財団法人福島県農業振興公社

TEL 024-521-9834 FAX 024-524-2393

「理事長就任にあたって」



理事長 星 恒 徳

本年 4 月 1 日付けで財団法人福島県農業振興公社理事長に就任いたしました。

皆様には、日ごろより当公社の事業推進につきまして、多大なるご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、当公社は、県農政における構造政策の推進機関として、県のご支援の下、市町村及び関係団体との連携を密にして、農地の利用集積による経営規模拡大と効率的な農業経営や農業・農村の担い手育成・確保を目指した各種事業を推進し、県行政の補完的な公益事業に取り組んでおります。

農業・農村をめぐる情勢は、一般社会との

相互の結びつきを強めている中で大きく変化し、食の安全性に対する関心の高まりや、担い手農業者の高齢化等が進行するなか、総合的な施策の計画的な推進が求められており、当公社としては、これからも地域のニーズを的確に把握しながら、質の高い農地流動化や農業経営の安定、さらには就農促進対策に取り組む、公社の存在価値を一層高めていきたいと考えております。

一方において当公社の運営状況は、年々厳しさを増していることから、組織及び人員体制の見直しを始め、事業の積極的な推進や、効率的な業務の執行による支出の削減等を中心として、単年度収支の改善や累積欠損金の縮減等を大きな目標とした第二次経営合理化計画を策定し、役職員が一体となって実施しているところであります。

今後、この経営合理化計画の進行管理を適切に行いながら、公社事業の一層の推進に取組み、本県農業の持続的な発展に寄与して参る所存でありますので、益々のご支援、ご協力をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成17年度 農地保有合理化事業新任担当者研修会を開催

平成17年7月6日(水)、郡山市の「福島県ハイテクプラザ」多目的ホールにおいて、平成17年度の農地保有合理化事業新任担当者研修会を開催いたしました。



熱心な研修風景

この研修会は、新たに合理化事業を担当することとなった市町村及び農業委員会事務局の職員の方を対象として、事業推進の基礎知識と事務実務

の習得を目的として毎年開催しておりますが、今回初めてJAの職員の方も加わっていただき、総勢95名の皆さんが熱心に研修されました。

本年度は、合理化事業の根拠法令である農業経営基盤強化促進法の一部が改正され、不在村などの農地所有者から「農地の貸付運用信託」を受け、構造改革特区の全国展開である農業生産法人以外の法人に農地を貸付する「特定法人貸付事業」、農業生産法人に農地の現物出資と併せて金銭を出資する「経営支援出資事業」、受け手のない優良農地を良好な状態で担い手に集積する「農地継承円滑化事業」などの新規事業が創設され、更に不動産登記法の改正により登記嘱託書の書式が全面改正されたことなど盛りだくさんとなり中身の濃い研修となりました。

特に、平成19年度からの新しい品目横断の経営安定対策に向け、農林水産省や県さらにJAなどが一体となって進めている集落営農の実現に向けて、農地保有合理化地域推進事業のしくみと当該事業の中間保有・再配分機能を効果的に活用した実践事例について詳細な研修を行いました。

平成16年度の事業実績

平成16年度の農地保有合理化事業の実績を報告いたします。

買入	68	ヘクタール
売渡	200	ヘクタール
借入	753	ヘクタール
貸付	1068	ヘクタール
作業受託	1859	ヘクタール

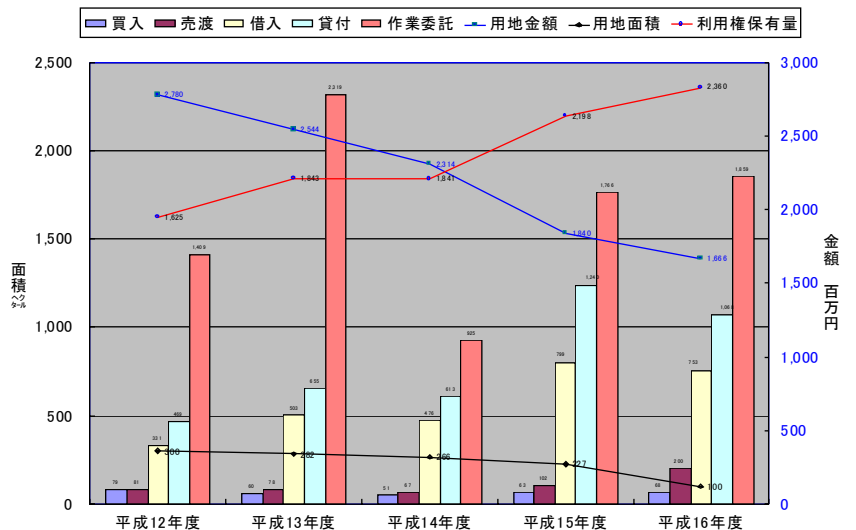
利用権保有量	2360	ヘクタール
--------	------	-------

ちなみに、賃貸借の実績は、昨年度に引き続き全国の農地保有合理化法人中で、第一位の実績です。

平成16年度中に、新たに契約を締結したり契約を更新した農用地利用改善団体を窓口とした地域ぐるみの利用調整地区は、21市町村、41地区になりました。

農地(水田)の売買価格の動向は、ここ数年二桁

最近5ヶ年の農地保有合理化事業実績の推移



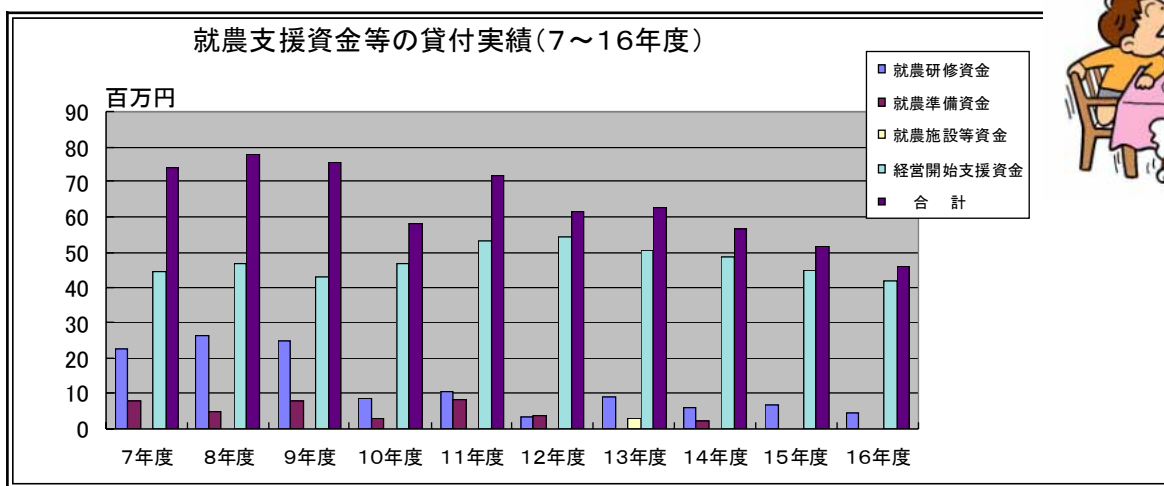
の下落率を示しておりましたが、平成16年度の買入価格の平均は、889千円/10aで対前年度比 -7%と一桁台に留まりました。

育成センター

◇ 平成16年度末の貸付累計実績 905件、635,736千円

平成16年度末現在、育成センターが新規就農支援のために貸し付けした就農支援資金及び経営開始支援資金の実績は、以下のとおりとなっています。

就農支援資金	176件	160,936千円
経営開始支援資金	729件	474,800千円
合計	905件	635,736千円



総務課

■ 当社の理事・監事及び評議員をご紹介します。(平成17年7月1日現在)

1. 理事及び監事

2. 評議員

役職名	氏名	職名	役職名	氏名	職名
理事長	星 恒 徳	常 勤	会 長	馬 場 恒 郎	福島県農林水産部政策監
理 事	松 本 友 作	福島県農林水産部長	副 会 長	長 島 俊 一	JA福島中央会参事
"	植 田 英 一	福島県酪農業協同組合代表理事組合長	評 議 員	中 野 伸 介	福島県農林水産部参事兼総務予算G参事
"	飯 野 陽 一 郎	福島県土地改良事業団体連合会副会長	"	高 泉 修	福島県農林水産部普及教育G参事
"	冨 塚 宥 暲	福島県市長会(田村市長)	"	坂 本 宏	福島県農林水産部参事兼農村計画G参事
"	鈴 木 義 孝	福島県町村会(三春町長)	"	羽 根 田 一 郎	福島県町村会常務理事兼事務局長
"	安 田 壽 男	JA全農福島県本部運営委員会長	"	水 野 秀 一	福島県農業会議事務局長
"	佐 川 栄 蔵	福島県農業会議副会長	"	阿 部 正	福島県土地改良事業団体連合会技監
監 事	佐 藤 勝 哉	JA福島中央会常務理事	"	高 田 泰	農業委員会(原町市農業委員会長)
"	大 出 隆 秀	公認会計士	"	草 野 好 弘	福島県指導農業士会長

■ 平成16年度の特定鉱害復旧事業の実績は以下のとおりとなっています。

(単位：件、千円)

実施市町村	件数	被 害 の 規 模	事 業 費
須賀川市	1	浅所陥没 0.2m×0.3m×深さ0.4m 1箇所 家屋等の亀裂2本 縦2.5m 横9.0m 土留め壁の亀裂 幅5mm 4箇所	4,282
いわき市	2	浅所陥没 2.0m×1.3m×深さ1.3m (いわき市内郷)) 浅所陥没 0.5m×0.7m×深さ1.6m (いわき市小川町)	266 68
鹿 島 町	1	浅所陥没 3.0m×3.0m×深さ3.0m	3,302

一 利用者のご活躍

当公社青年農業者等育成センター事業活用者が 第46回福島県農業賞を受賞！



■ 新規就農部門において晴れの受賞に輝いた菊地克明さん、弥生さんご夫婦

平成12年に神奈川県から南郷村に移り4年、新規就農者として生活環境や生産技術等の壁を乗り越え、南郷トマト栽培に取り組み、生産量、品質ともに当生産組合の最高賞を受賞するなど高い実績を挙げられております。

なお、就農時では当公社青年農業者等育成センターの経営開始支援資金を活用されました。

■ 集団活動部門・農村青年活動の部において晴れの受賞に輝いたいわき農業青年クラブ連絡協議会

いわき農業青年クラブ連絡協議会は、農業に対する理解を深めてもらおうと、市民を対象とした農業体験活動を主体とした農業ふれあい講座等を開設しております。

農作物の栽培体験や地元で採れる農作物を使った料理教室など市民との交流を通し、農業・農村の振興等に一役買っています。

なお、当公社青年農業者等育成センターでは青年農業者組織活動助成事業等により当協議会の組織活動を支援しております。



編集後記

先日、久方ぶりに降るようなセミの鳴き声を聞きました。とある県の山の中での出来事です。子供の頃の夏休みといえば、何処でもセミの声が聞こえていた記憶がありますが、近頃は自宅の周りも市街地化されセミの声さえ忘れていたのでしょうか。とても大切なものを思い起こした一日でした。 JK

問い合わせ

あて先 〒960-8681
福島県福島市中町8番2号
財団法人福島県農業振興公社 総務課
TEL 024(521)9834 FAX 024(524)2393
みなさんのご意見ご感想をお寄せください。
<http://www.fnk.or.jp>

この広報誌は、再生紙を利用しております。

「あなたを、守る シートベルト 忘れないでね」